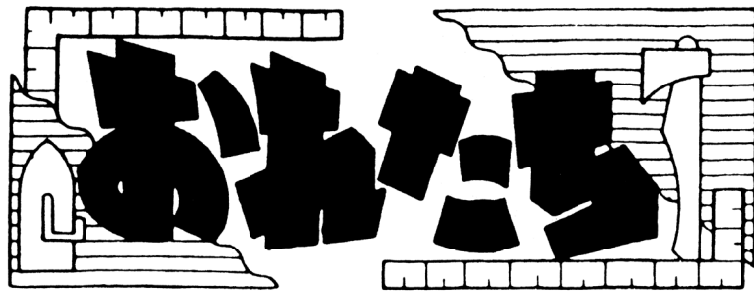


無料法律相談日の案内

10月21日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

9月初組合員数=1975人(-5人)



発行所
東京土建一般労働組合荒川支部
東京都荒川区荒川6-3-1
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381
発行者・豊田佳二/編集長・堀井龍二
http://www.doken-arakawa.org/

秋の拡大行動日程

第3次行動日

9月27日(火)・28日(水)

第4次行動日

10月4日(火)・5日(水)

※5日(水)中間決起集会

第5次行動日

10月13日(木)・14日(金)

第6次行動日

10月20日(木)・21日(金)

第7次行動日

10月26日(水)・27日(木)

本部登録日

9月30日(金)

10月31日(月)

打上式

11月4日(金)



緊急事態条項について語る石川裕一郎先生

先の参議院選では改憲勢力が議席を拡大したものの、世論調査では多くの国民は改憲に懐疑的である。今回の学習会では聖学院大学教授の石川裕一郎教授より緊急事態条項についての講演を受けた。

緊急事態条項が盛り込まれれば、大規模災害時に人様の車両を動かすことができるという国会議員がいるようだが、災害対策基本法では市区町村の判断で災害を拡大させる恐れがあると認められれば、施設や個人の財物であっても除去できるとされているとのこと。

それだけが全てではないが、緊急事態条項の必要性

スタートダッシュで18人加入

秋の拡大月間始まる

9月4日(日)夏の大学集会・秋の拡大決起集会のけんせつプラザ東京にて開催された。

学習会では緊急事態条項について聖学院大学の石川裕一郎教授の講演からはじまり、9月スタートのどけん地震共済に

ついても学んだ。決起集会は日暮里一分会の経験報告が始まり、続いて船橋書記長から方針提案がされた。全分会達成に向け意思統一し、2か月間の秋の拡大行動が本格的にスタートだ。

文・写真 堀井龍二記者(日暮里一)



経験報告をする榎分会長

は現在のところ、多くの憲法学者や専門家が不要と判断しているそう。

が多いとのこと。ただし、基本は組合員が楽しく活動できる分会で、あることが大切。

秋の月間における支部目標は70人だが、8月27日以降、すでに18人が加入している。

さて続いて、秋の拡大決起集会だが、日暮里一分会の榎分会長の経験報告から始まった。新加入者に対して、しっかりと組合活動について加入時に伝えきること、分会の活動に理解を示し、協力者へとなること

船橋書記長の方針提案では、「社会保険の未加入問題も最終盤を迎える。この秋がラストチャンスと考え、日中の事業所訪問を積極的に行い、既加入事業所へは法定福利費の請求運動へ踏み出す事業主を増やす月間

核を廃絶し平和な世界に

原水禁広島世界大会参加者報告

被爆者の声を聴き 悲惨さを感じた



伊藤 貴司さん(東尾久一)

とにかく暑い広島。新幹線を降りた時も、街に出た時も、常に感じるのはその暑さ。世界大会の会場に辿り着くまでにどれだけの汗をかいたか。

初めての原水爆禁止世界大会への参加ですが、まず大会の大きさ、人の多さ、そして今



資料館で核の悲惨さを

まで無関心すぎた自分に情けなくなってきました。

正直、昔の事、他人事のように思っていた核が、今、あまりに身近に感じられる。だんだんと核の恐ろしさがかわかってくる自分がいきました。もしかすると自分と同じように核を「他人事のように感じている人もたくさんいるかもしれない」と思いました。被爆者の話

核廃絶の考えに 強く賛同



小谷野浩享さん(日暮里一)

初めての広島はとても暑く、71年前の原爆が投下された日も同じように晴れていたそう、「こんなに暑かったのか?」と思いましたが、8時15分に行われた黙祷では、職業柄現場で建設職人達とすることがほとん

どだったの、平和式典の会場で黙祷を捧げた時はいつもとは違い、心なしか原爆によって亡くなった方たちをより身近に感じた気がしました。

分科会では多くの団体の代表の方の活動を聞くことができ、それぞれ異なる平和運動の取組みがあることを知りました。

原爆資料館では被爆者の方の生の声を聴き、「核を持たない、持たせない」という考えに強く賛同できるようにになりました。

分会	2016年1/1付現勢	月間目標	9/1付現勢	9/4現在
西尾久	277	10	272	1
東尾久1	122	5	122	0
東尾久2	180	7	182	0
荒川	256	9	252	1
町屋北	173	6	184	0
町屋南	175	7	166	3
日暮里1	159	6	142	0
日暮里2	185	8	190	0
南千住	134	7	170	0
事業所	159	5	131	12
直属	191		160	1
合計	1,997	70	1,971	18
主婦の会	367	15	371	0
青年部	66	4	57	2
荒友会	188	11	165	2

へ」と提案された。

拡大月間の中枢となる増山組織部長は、「拡大は組合の組織そのものを守るだけでなく、組合員の要求を実現するための要である。多くの仲間の協力が無ければ、達成できません」と語り

組合に入る人を探すのはもちろん、労災や社会保険などの手続きで困っている方が居たらすぐに支部へ連絡をお願いします。11月4日の打上式では全分会が達成して乾杯をしよう。

と言われているなか、戦争の抑止力とはいえず、なぜ核を保持していくのか。3日間ではとても学びきれないことですが、これからも関心を持ち、もっと知っていく必要があると感じた貴重な3日間となりました。

今、日本の戦争を考える

—盧溝橋事件勃発と南京事件の真実—

「七月七日、日本国憲法、勃発と南京事件の真実」と題して、駿河台大学、日中友好協会東京都連主催「今、日本の戦争を考える」盧溝橋事件【南千住・竹達浩記者】

講師の井上久士さんは、日中全面戦争の契機となった、盧溝橋事件（一九三七年七月七日）を話す前に、日本による中国侵略の歴史に

関東軍の謀略によって起った、満州事変の発端となる鉄道爆破事件。関東軍はこれを中国軍による犯行と発表すること

で、満州における軍事展開、占領の口実とした。一九三二年九月一八日、

柳条湖事件

リットン報告書

一九三三年二月二四日、日支紛争に関する国際連盟調査委員会の報告書に基づき、国際連盟は満州国の主権は支那（中国）に属するとされ、日本軍の撤収が勧告された。

国共両党の和解

西安事変の平和的解決（一九三六年一二月二五日）中国共産軍ともコンタクトのある、張学良による中国国民政府首相、蒋介石



講師の井上久士さん

さん（事業所）が持参した包丁で村上部長の指導のもと研いでみると、いとも簡単に仕上がった。難しい技術ではなく、ちょっとした「コツ」さえ掴めば、誰でも効率的に研げることができます。

包丁研ぎ学習会開催

ベルトサンダーで効率化図る

【仕事対策部発】7月22日（金）に仕事対策部会にて、「ベルトサンダー」を利用した包丁研ぎの学習会を、足立支部より村上技術対策部長を講師にお招きし開催した。

参加者は技術対策部長の他に、各分会の代表を合わせて22人となった。今回の学習会は全ての参加者がはじめての体験



熱心に聞き入る参加者

に、各ご家庭の包丁をサ一ビスで研ぎ、財布のひもを握る奥様の心をがっちり掴み、仕事確保にも活用しているそうです。

で、「本当にこんな物で包丁が研げるのか？」と半信半疑の状態でした。まずは百聞は一見にしかずということ、村上部長の実演です。研ぐ前の包丁でビニールを切ってみます。切れ味としては度々引掛かるように切れていく。その包丁をベルトサンダーで研ぎ、仕上げにはこれまでと同様に砥石で研ぐ。だいたい5分程度の作業でしたが、先程のビニールは引掛かることなくスムーズに切れた。次に、大橋

五年戦争の始まり）

天頂山事件

一九三二年九月一六日、撫順炭鉱を警備する日本の守備隊が、ゲリラ掃討作戦の際に平頂山集落の住民が殺傷された事件。四〇〇〇八〇〇人（日本説）三・〇〇〇人（中国説）



参加者で埋まる会場

固たる措置をとる」盧溝橋事件に関する政府声明「一九三七年八月一日（五日）日本軍の増派により、戦局は全面戦争に突入した。短期決戦に臨む日本に対して、中国は持久戦法で臨み戦局は拡大した。

盧溝橋から全面戦争へ

盧溝橋事件で特筆すべきことは、日本軍の夜間演習の中止を求めた中国側の抗議を、無視して夜間演習を強行したことにある。当時は一触即発というべき危険な状態で、軍事衝突が起きて当然と言える状況であった。にもかかわらず夜間演習は続行され、発砲事件を契機に衝突、この事件は起こるべくしておきた。

盧溝橋事件の事後、日本軍と中国軍の間で停戦協定が成立したが、日本政府と軍中核派は兵員の増派を決定した。「支那軍の暴戻（ぼうれい）を脅懲（ようちゆう）しよう」ということを以て南京打ち殺すことし、以て南京政府の反省を促す為今や断

首都南京進攻へ

「支那軍の暴戻（ぼうれい）を脅懲（ようちゆう）しよう」ということを以て南京打ち殺すことし、以て南京政府の反省を促す為今や断

「支那軍の暴戻（ぼうれい）を脅懲（ようちゆう）しよう」ということを以て南京打ち殺すことし、以て南京政府の反省を促す為今や断

核を考える機会に

原爆と人間展を開催

【日暮里一堀井龍二記者】8月1日（月）〜7日（日）まで「原爆と人間展」が、町屋文化センターふれあい広場にて行われました。

71年前の広島・長崎での被害、原爆・核兵器の被害や、被爆の実相を伝え、ともに考える機会にと、荒川



谷口さんのパネル

「私は核兵器がこの世から無くなるまで死ねない」と書いてあったのが印象的でした。

吾第・師団長日記より）

「約半年に亘る戦闘中に覚えたのは強姦と強盗位のものだ」（陸軍次官「支那事変地より帰還する軍隊及軍人の言論指導取り締まりに関する件」一九三九年二月）

以上、記された捕虜の組織的殺害、婦女子への強姦・殺害、一般市民の理由無き殺害・略奪・放火これ等のものは全て国際法に抵触し、これらを総じて南京大虐殺事件が起きたのである。

最近の国際情勢は、過度な自国の利益優先の命題論理で推移し、国際社会の秩序が崩壊しはじめています。日本においても安倍政

最近の国際情勢は、過度な自国の利益優先の命題論理で推移し、国際社会の秩序が崩壊しはじめています。日本においても安倍政

過去の歴史を知り、民主主義のもとで改憲反対の声を広げて行きましょう。

荒川分会納涼船しり

夏の夜のひとときを!



若さを執り戻しダンス・ダンス・ダンス!

き立たせ、幻想的な景色を演出してくれました。羽田空港を飛び交うジェット機の列を間近に、白波を切り進む「サルビア号」が気分を一新させてくれ、改めて若さを取り戻し、21時頃に帰港となりました。

【荒川・磯部正三通信員】8月28日(日)毎年恒例の行事となった荒川分会の東京湾クルージングに27人の仲間が参加しました。当日は、朝から曇り空で出船の時間には雨が降り始めました。時折、冷たい雨が吹き込むものの、若者たちの熱気と、大音量で流れるダンスミュージックや浴衣ダンスの踊りが、雨を吹き飛ばし、私たちの年齢すらも忘れさせてくれました。会場の熱気が上がると踊りだす仲間も出てきて最高潮に盛り上がりました。一方、クルージングは低く漂う雨雲が、湾岸のコンピナートの光をより一層引き立たせ、幻想的な景色を演出してくれました。羽田空港を飛び交うジェット機の列を間近に、白波を切り進む「サルビア号」が気分を一新させてくれ、改めて若さを取り戻し、21時頃に帰港となりました。



今、世界は、テロなど底のない混沌の淵に沈下中です、この現象の発端は時代をさかのぼると、一七六〇年代にイギリスで起きた産業革命も

要因の一部です。産業革命によって産業の技術的基礎が一変し、手工業的な作業所に代わって機械設備による大工業が成立し、社会構造が根本的に変化して近代資本主義が確立した。一八三〇年以降欧州諸国に波及し、世界的に生産は拡大、それに伴い資源の争奪も余儀なく進行した。世界の資源争奪戦の最先端に君臨していたのも、帝国を形成していたイギリスです。イギリス帝国は世界の面積の四分

一の国々を、植民地支配をして収奪しました。他の欧州有力国、または中東有力国も植民地支配に乗り出し、日本も傲慢な東洋の雄を自認した政府・財界・知識人が、歴史的に市民革命を経験していない市民権(基本的人権)の無い国民の命を武器として、資源争奪侵略戦争を開始した。支配された国は、国の秩序、即ち制度・教育・宗教・文化の制約、資源収奪は生活の困難を極め歴史的憤怒の基となる。(H)

区労評夏季合宿 労働組合の今後の在り方

【日暮里一・川又好一記者】2016年荒川区労評夏季合宿が8月27・28日の二日間箱根湯本の「箱根路開雲」にて、区労評の10単組の参加で開催されました。ミヤンマー連邦共和国の最大都市ヤンゴンの清掃労働者の現状を映像で見た。上映時間は19分であった。

高所得者が住む住宅街のゴミは、お金になる物がある。市清掃局職員と個人の清掃業者との奪い合い。貧しい住宅街のゴミはお金になる物は何も無い現状。日本から清掃のプロがヤンゴンの現地で清掃業務を教え、労働組合を作る映像だった。労働団体の機関連紙活動をサポートする連合通信社の伊藤編集長から、取材で感

【報告】 じ取れるミヤンマー政府、大企業の経営方針について報告があった。「残業代ゼロで働かせ放題になってしまおう」、「解雇の金銭解決は不当解雇でも力ネで追い出しが可能となる」、「雇用仲介事業のあり方見直し、派遣と職業紹介の垣根を低くする」これから働く労働者にとっては赤信号になると思われる。

すべての労働組合の団結で不当判決を跳ね返そう! フジビ闘争では、会社は労働委員会を二度に渡り和解の席をかけたあげく「会

社イメージを傷つけたから損害を支払え!」と言って、労働組合を訴えず、解雇された組合役員3人「個人」に対して、高額賠償を請求する「スラップ(恫喝)裁判」を起こしました。法の番人である東京地裁も高裁も、労働組合法8条に反した判決で3人に「350万円」を払えとなった。こんな判決がまかり通れば、いま認められている労働組合活動でさえ、会社や当局から、いつでも裁判に訴えられ、労働組合の活動が「個人」の責任にされてしまいます。現在では最高裁に上告しています。



荒川区労評の仲間たち

フジビ闘争4周年 すべての労働組合の団結で不当判決を跳ね返そうと訴え、勝利を目指し4年目を迎える9・14社前集会への参加を呼び掛けた。

地域公演案内

- お申し込みは、ACC (公助) 荒川区芸術文化振興財団ホームページへ
- 爆笑ひぐらし名人会

9月24日(土)
昼の部：午後2時開演、夜の部：午後5時開演
サンパール荒川 大ホール
昼の部：前売り2,000円、当日2,500円
夜の部：前売り1,000円、当日1,500円
昼夜通し：前売り2,500円、当日3,000円
 - 三遊亭鳳楽 独演会

10月27日(木) 午後6時30分開演
日暮里サニーホール
前売 2,000円 当日 2,500円
 - ARAKAWAクラシックBOXIII

11月29日(火) 午後7時開演
日暮里サニーホールコンサートサロン
一般 2,000円 高校生以下 1,500円

組合員と同居の親族まで地域公演を観劇された方に補助金が出ます。2,000円~4,999円の観劇は500円、5,000円以上の観劇は1,000円の補助金ができます。観劇補助の申請は観劇日より1カ月以内。チケットの半券を持参し組合事務所へお越しください。

後継者対策部主催 恋が始まるきっかけを

恋活Party

11月27日(日) 開場14時45分 開始15時15分~

パセラリゾーツ上野公園前店2階「GRACE BALI」

【参加条件】 ① 20~40歳代までの組合員の男女
② 組合員の関係者の女性(独身)

【参加費】 男性：4,000円 女性：2,000円

【定員】 男性：10人 女性 10人 ◎お申込は支部へ◎
※東部ブロック全体の取組みで総勢100人予定

第二峽田小学校

震災にも負けず、戦火にも負けず 人や自然との体験から学ぶ

今年で創立97周年を迎える第二峽田小学校へ取材に行ってきました。
非常に長い歴史を持つ学校で、人権教育を特別な教育活動ではなく、全学校生活を通して行うものだと考え、①よ

く学び、②思いやりのある子、③元氣な子を目標に学校教育が進められています。人や自然から得られる感動を大切に、子供達が学校生活を送っています。
文・写真 並木博記者(荒川)

で、上野広小路交差点に設置されたそうです。

「峽田」の由来

三河島を表す言葉で「峽田」という名前があります。荒川区の大部分は將軍家の菩提寺寛永寺の治める土地で、峽田領と呼ばれていたことから峽田小学校の名がつけられました。



大正当時の校門の様子(創立60周年記念誌より)

大正4年に峽田尋常高等小学校分教場として設立しました。
現在の荒川区立第二峽田小学校の前身である、東京都北豊島郡第二峽田尋常小学校として大正8年9月13日に9学級、児童579人、職員9人で独立をしました。
旧校歌は大正12年にでき、現在の校歌は昭和22年に作詞浅沼茂雄、校閲窪田空穂、作曲松永水枝で出来ました。交通信号のはしりとも言える【木製信号機】が登場したのもこの年9月



大正12年9月1日の関東大震災にも校舎は耐えませんでした。
昭和6年第五峽田小学校が新設したことに伴い児童の一部が転校しました。昭和14年第九峽田小学校が新設したことで児童240人が移りました。



現在の校門

昭和16年に小学校を国民学校と改称し、この年に太平洋戦争が開戦となりました。
昭和20年8月14日。日本政府が、ポツダム宣言の受諾を国連軍各国に通告し、終戦しました。
戦時中、児童は福島に疎開し、校舎も消失することなく戦火をまぬがれたが、昭和34年、現在の鉄筋三階建て18教室が完成しました。
関東大震災、太平洋戦争をくぐり抜けてきた歴史を持つ、地域住民の誇りある小学校です。

仲間の横顔



寺門 詰二さん(西尾久分会)

組合に加入して38年になる、寺門詰二(ニテツジ)さん宅を訪問し、お話を伺いました。



釣り仲間と

「15年程前までは執行委員として活動をしてきました。現在は西尾久分会の2群のために頑張っています。皆さんの役に立ちたい一心で、平成15年頃までは自宅を拡大セーターとして使って頂きました。拡大の時には必死に声を掛けて回り、かれこれ70人くらいの仲間組合に加入してもらってきました。
今では趣味のへら鮒釣りをして楽しんでます。先日、潮来まで多くの仲間と釣りに出かけ、40センチのへら鮒を釣り上げました。体力も衰えてきたせいか、40センチのへら鮒ともなると、手元に寄せて抜き上げるのに苦労しました」
取材 小野澤富彦記者 西尾久分会

訃報

●中野 優さん
16年7月6日逝去 享年81歳(日暮里二・建築大工)

●江沢 実さん
16年8月28日逝去 享年84歳(南千住・塗装)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

就業実態申告書の提出を

国保組合からのお願い

【国保係】すべての国保組合は、厚生労働省、東京都の指導により、定期的に組合員の資格確認を行うことを義務付けられています。
この資格確認では組合員のみならず、建設業に就いていることを確認する。この資格確認は「就業実態(保険料区分・事業所・業種)申告書」に必要事項を記入・押印のうえ、「業種確認書類」(所得税の確定申告書Bの控え、労働保険特別加入証明書、請求書など)とセットで支部事務所へご提出いただけます。ご不明な点がございましたら、

感震ブレーカー設置助成制度はじまる

荒川区内に住所を有する全世帯を対象に【感震ブレーカー】の助成制度がはじまりました。事前に荒川区へ所定の書類を提出し交付決定通知書を受け取ってから設置工事の手配を進めます。一般世帯なら上限6万(助成率1/2)、特定世帯なら上限10万円(助成率5/6)で掛かった工事費用が助成率に応じて助成されます。詳しくは支部へ!



ひとくち映画情報

『怒り』

李相日 監督



東京・八王子市で中年夫婦惨殺事件が発生し、

犯行現場には「怒り」の血文字が残されていた。事件はセンセーショナルに報道されますが、犯人は顔を整形して逃亡を続ける。
ドラマが始まるのは、その1年後。三つの町で3人の人物がそれぞれ、3人の男と出会う。千葉の港町では元風俗嬢の愛子(宮崎あおい)が新米漁師・田代(松山ケンイチ)に、東京のゲイパ

ティーでは会社員の優馬(妻夫木聡)が大西(綾野剛)に、沖縄の離島では高校生の泉(広瀬すず)がバックパッカーの田中(森山未來)に。田代・大西・田中の共通点は前歴不詳であること。周囲は彼らに引き付けられながらも、公開された手配写真を見て疑念を抱き始めるのだった。「信じる」とは何かを、問いかける作品だ。9月17日より全国東宝系で公開。

© 2016 「怒り」製作委員会